

# 貸借対照表

〔 2024年3月31日現在 〕

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
流動資産	1,824,106	流動負債	849,330
現金及び預金	413,898	未払金	105,722
未収運賃	295,524	未払費用	175,576
未収入金	271,185	未払消費税等	32,713
未収収益	367,009	未払法人税等	48,232
短期貸付金	2,160	リース債務(短期)	266,158
預け金	434,393	預り連絡運賃	81,869
貯蔵品	21,262	預り金	37,355
前払費用	1,875	前受収益	5,091
その他流動資産	17,297	賞与引当金	96,610
貸倒引当金	△ 500		
固定資産	2,248,554	固定負債	792,613
有形固定資産	1,775,830	リース債務(長期)	650,121
車両	163,229	退職給付引当金	107,110
建物	250,529	その他固定負債	35,381
構築物	17,572		
機械装置	11,518		
器具備品	8,786		
リース資産	832,551		
土地	341,881	負債合計	1,641,943
建設仮勘定	149,760		
		(純資産の部)	
無形固定資産	14,398	株主資本	2,430,717
電話加入権	1,225	資本金	144,200
ソフトウェア	13,172	資本剰余金	906
投資その他の資産	458,325	資本準備金	906
長期貸付金	3,660	利益剰余金	2,285,611
関係会社株式	202,000	利益準備金	28,300
投資有価証券	21,799	固定資産圧縮積立金	70,195
長期前払費用	5,076	配当引当積立金	30,000
前払年金費用	107,649	別途積立金	40,500
繰延税金資産	25,389	繰越利益剰余金	2,116,616
その他の投資	92,751		
		純資産合計	2,430,717
資産合計	4,072,660	負債及び純資産合計	4,072,660

# 個別注記表

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

市場価格のない株式等以外のもの

時価法

市場価格のない株式等

移動平均法に基づく原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げ方法により算定)

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

車両及び建物

定額法

その他の有形固定資産

定率法

(ただし、2016年4月1日以降に取得した構築物については、定額法を採用しております。)

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零(残価保証の取り決めがある場合は残価保証額)とする定額法を採用しております。

無形固定資産

ソフトウェア

定額法

(4) 引当金の計上の方法

賞与引当金

従業員に支給する賞与に充てるため、支給見込額基準により計上しております。

貸倒引当金

個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

退職給付引当金

当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき当期末に発生していると認められる額を計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

なお、当該金額を超過する掛金拠出額は、前払年金費用として計上しております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(3年)による定額法により翌期から費用処理することとしております。

(5) 収益及び費用の計上基準

自動車運送事業営業収益は、乗合バスおよび貸切バスによる旅客運送サービスの提供であり、乗合バスについては、乗車券類を購入した顧客に対して輸送サービスを提供した時点で履行義務が充足されると判断し、原則として乗車日に収益を認識しております。また貸切バスについては、貸切運行を実施した時点で履行義務が充足されると判断し、当該時点において収益を認識しております。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額

4,372,071 千円

(2) 有形固定資産の圧縮記帳控除額

16,249 千円

(3) 関係会社に対する短期金銭債権

504,691 千円

(4) 関係会社に対する短期金銭債務

95,837 千円

(5) 関係会社に対する長期金銭債権

4,016 千円

(6) 関係会社に対する長期金銭債務

180 千円

4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
営業収益	10,300 千円
営業費用	119,479 千円
営業取引以外の取引高(収益)	288 千円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式総数	
普通株式	288,400株

6. 税効果会計に関する注記

- (1) 法人税等の期間配分の処理は、税効果会計を適用しております。  
(2) 繰延税金資産の発生の主な原因は、繰越欠損金、賞与引当金、退職給付引当金によるものであります。

7. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社 (単位:千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	科目	期末残高
親会社	南海電気鉄道株式会社	被所有 直接 52.19%	資金の預け入れ	預け金	434,393

(2) 子会社 (単位:千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引額	科目	期末残高
子会社	株式会社徳バス 観光サービス	所有 直接 100.00%	乗車券の 発売委託	511,399	未収運賃	55,517

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については銀行預金と、親会社である南海電気鉄道株式会社のキャッシュ・マネジメント・システムへの預け入れに限定しております。

売掛金に係る顧客の信用リスクは、取引先ごとの期日管理や残高管理により軽減を図っております。

営業債務については、定期的に資金繰り計画を作成・更新するなどの方法により管理しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2024年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、投資有価証券は、市場価格のない株式等(貸借対照表計上額21,799千円)であり、記載に含めておりません。また、現金は注記を省略しており、預金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 未収運賃	295,524	295,524	0
(2) 未収入金	271,185	271,185	0
(3) 未収収益	367,009	367,009	0
(4) 預け金	434,393	434,393	0
(5) 未払費用	(175,576)	(175,576)	0

※負債に計上されているものについては、( )で示しております。

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価: 同一の資産又は負債の活発な市場における(無調整の)相場価格により算定した時価

レベル2の時価: レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価: 重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

未収運賃、未収入金、未収収益及び預け金

これらの時価は、一定の期間ごとに区分した債権ごとに、債権額と満期までの期間及び信用リスクを加味した利率を基に割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

未払費用

これらの時価は、一定の期間ごとに区分した債務ごとに、その将来キャッシュ・フローと、返済期日までの期間及び信用リスクを加味した利率を基に割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

## 9. 賃貸等不動産に関する注記

### (1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社では、徳島県板野郡松茂町その他地域において、賃貸用の土地・建物を有しております。

### (2) 賃貸等不動産の時価等に関する事項

(単位:千円)

貸借対照表計上額	時 価
59,969	744,340

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2) 当期末の時価は、固定資産税評価額を基に合理的な調整を行って算出した金額であります。

## 10. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり当期純利益

1,014円89銭

1株当たり純資産額

8,428円28銭